

式 辞

このたびの東日本大震災におきまして、犠牲になられた方々に謹んでご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々、その関係者の皆様にご心よりお見舞いを申し上げ、被災地の一日も早い復興をお祈り致します。

本日、山村学園短期大学の入学式を迎えるに当たり、ご来賓の方々並びに保護者の皆様にご臨席を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、新入生の皆さん、入学おめでとう。心から皆さんの入学をお祝い申し上げます。

皆さんはこの三月までそれぞれの高等学校、或いは日本語学校などで勉強してきましたが、いよいよ本日

から、この山村学園短期大学において、大学生としての勉強が始まります。

皆さんはこの大学に入学するに当たり、それぞれ自分の目的・目標、将来の夢と希望を抱いて入学したことだと思います。この二年間で自分の目的・目標の実現に向けて努力し、将来の夢と希望を叶える土台を作っていただきたいと期待いたします。

大学というところは何事においても自ら進んで参加し、積極的に行動することが大事です。先生から言われるままに動く、指示待ちという態度では実りの少ない大学生活になつてしまいます。

大学における学習には大きく分けて二つあります。一つは専門の知識や技術を身に付け専門性を深めるといふ勉強です。本学では皆さんは、それぞれの学問の素養に長けている専門性の高い教員から指導を受ける

ことになりませんが、積極的にチャレンジして是非自分の専門的知識を深め、技能を高めていただきたいと思
います。

次に大事なことは、大学生としての高い教養を身に
付けることです。専門的知識や技術を身に付けるこ
とは、それでこそ大学で勉強したということになりま
すが、それだけでは大学生としての価値はあまりあり
ません。大学生としての教養を身に付けることも非常
に大事であります。教養の中身を一つ二つ言えば、専
門以外の広い知識、広い視野に立った判断力、社会常
識、思いやりの心、大学生らしい態度・行動というこ
とになりました。そのためには、本をたくさん読み、
ボランティア活動、課外活動などが大いに役立つことと
思います。

この度、山村学園短期大学は短期大学基準協会による第三者評価を受けまして、本学は、建学の精神である「質実」「英知」「愛敬」に基づいて、優れた教育並びに学生の指導を行っており、短期大学として適格であるとの認定・評価を受けました。われわれの日ごろの努力が報われたという証ですが、皆さんにこのことをお知らせするとともに、今後とも一層充実した教育と指導を行って参りたいと思っております。

保護者の皆様にご挨拶申し上げます。ご息女、ご息子様のご入学、誠におめでとうございます。

本学の特徴の一つは少人数制によるきめ細かな教育と指導、そして学習活動、諸行事を通して学生同士の交流が活発でございます。

世は依然として経済不況から脱しておりません。短

期大学、全国の就職率は六十〜七十%台ですが、お陰様で本学の平成二十二年度の卒業生の就職・進学は八八%と高率でした。中でも保育学科では100%を達成いたしました。

今後とも、全教職員が心を一つにして皆様のご期待に添うよう努力いたしますので、皆様におかれましても本学に対して深いご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

以上をもちまして入学式の式辞といたします。

平成二十三年四月一日

山村学園短期大学

学長 藤巻公裕